

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
【発行日】令和 4 年 12 月 14 日(2022.12.14)

【公開番号】特開 2021-99643(P2021-99643A)  
【公開日】令和 3 年 7 月 1 日(2021.7.1)  
【年通号数】公開・登録公報 2021-029  
【出願番号】特願 2019-230917(P2019-230917)  
【国際特許分類】

G 0 6 F 3/0346(2013.01)

10

G 0 6 F 3/038(2013.01)

【F I】

G 0 6 F 3/0346 4 2 3

G 0 6 F 3/038 3 5 0

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 12 月 6 日(2022.12.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ユーザの視線を検出する検出手段と、

操作手段に対する操作に応じて、インジケータの移動の制御を行う制御手段であって

、  
前記操作手段に対する操作が第 1 の条件を満たすと、前記インジケータを前記検出手段により検出した視線位置に基づく位置に移動させ、

30

前記インジケータを前記視線位置に基づく位置に移動させた後、前記操作手段に対する操作が第 2 の条件を満たさなければ、前記第 1 の条件を満たしても前記インジケータを移動せず、前記操作手段に対する操作が前記第 2 の条件を満たせば、前記視線位置に基づく位置から操作量に応じた移動量で前記インジケータを移動するように制御する制御手段と、

を有することを特徴とする電子機器。

【請求項 2】

前記第 2 の条件は、

前記操作手段に対する連続した操作の終了であることを特徴とする請求項 1 に記載の電子機器。

40

【請求項 3】

前記第 2 の条件は、

前記操作手段に対する単位時間当たりの操作量が所定値以下となることであることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の電子機器。

【請求項 4】

前記第 2 の条件は、

操作の一時的な静止、操作の終了、のうち少なくとも 1 つであることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の電子機器。

【請求項 5】

前記制御手段は、

前記インジケータを前記視線位置に基づく位置に移動する前に、前記操作手段に対す

50

る操作が前記第 1 の条件を満たさなければ、前記視線位置に基づく位置にかかわらず、移動前の前記インジケータの位置から前記操作手段に対する操作量に応じた移動量で前記インジケータを移動するように制御することを特徴とする請求項 1 に記載の電子機器。

【請求項 6】

前記第 1 の条件は、

前記操作手段に対する所定量以上の操作であることを特徴とする請求項 1 または 5 に記載の電子機器。

【請求項 7】

前記第 1 の条件は、

操作方向を所定回数以上切り替える往復操作、操作を所定時間以上継続したままの移動操作、長押し操作、のうち少なくとも 1 つであることを特徴とする請求項 1、5、6 のいずれか 1 項に記載の電子機器。 10

【請求項 8】

前記制御手段は、

前記操作手段に対する操作が前記第 1 の条件を満たすと、前記操作手段への操作量にかかわらず、前記インジケータを前記視線位置に基づく位置に移動させることを特徴とする請求項 1、5 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の電子機器。

【請求項 9】

前記インジケータは、

表示手段に表示される表示アイテムを選択するためのインジケータであることを特徴とする請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 項に記載の電子機器。 20

【請求項 10】

前記インジケータは、

所定の処理を施す基準となる位置を指定するためのインジケータであることを特徴とする請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 項に記載の電子機器。

【請求項 11】

前記所定の処理は、

A F 処理、画像処理、プログラムの実行処理の少なくとも 1 つであることを特徴とする請求項 10 に記載の電子機器。

【請求項 12】

30

前記制御手段は、

前記インジケータを前記視線位置に基づく位置に移動させた後、前記操作手段に対する操作が

前記第 2 の条件を満たす前と、前記第 2 の条件を満たした後とで、

前記インジケータの表示形態を異ならせるように制御することを特徴とする請求項 1 乃至 11 のいずれか 1 項に記載の電子機器。

【請求項 13】

前記操作手段は、マウス、タッチ操作可能なタッチ操作手段、空間上で操作可能なポインティングデバイス、4 方向に操作可能な方向キー、のうち少なくとも 1 つであることを特徴とする請求項 1 乃至 12 のいずれか 1 項に記載の電子機器。 40

【請求項 14】

前記制御手段は、

前記検出手段により検出した視線位置に基づく位置を、表示手段に表示するように制御することを特徴とする請求項 1 乃至 13 のいずれか 1 項に記載の電子機器。

【請求項 15】

ユーザーの視線を検出する検出ステップと、

操作手段に対する操作に応じて、インジケータの移動の制御を行う制御ステップであって、

前記操作手段に対する操作が第 1 の条件を満たすと、前記インジケータを前記検出ステップで検出した視線位置に基づく位置に移動させ、 50

前記インジケータを前記視線位置に基づく位置に移動させた後、前記操作手段に対する操作が第２の条件を満たさなければ、前記第１の条件を満たしても前記インジケータを移動せず、

前記操作手段に対する操作が前記第２の条件を満たせば、前記視線位置に基づく位置から操作量に応じた移動量で前記インジケータを移動するように制御することを特徴とする電子機器の制御方法。

【請求項１６】

コンピュータを、請求項１乃至１４のいずれか１項に記載された電子機器の各手段として機能させるためのプログラム。

【請求項１７】

コンピュータを、請求項１乃至１４のいずれか１項に記載された電子機器の各手段として機能させるためのプログラムを格納したコンピュータが読み取り可能な記憶媒体。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

上記目的を達成するために、本発明は、  
ユーザーの視線を検出する検出手段と、操作手段に対する操作に応じて、インジケータの移動の制御を行う制御手段であって、前記操作手段に対する操作が第１の条件を満たすと、前記インジケータを前記検出手段により検出した視線位置に基づく位置に移動させ、前記インジケータを前記視線位置に基づく位置に移動させた後、前記操作手段に対する操作が第２の条件を満たさなければ、前記第１の条件を満たしても前記インジケータを移動せず、前記操作手段に対する操作が前記第２の条件を満たせば、前記視線位置に基づく位置から操作量に応じた移動量で前記インジケータを移動するように制御する制御手段と、を有することを特徴とする。

10

20

30

40

50